

情報幾何学の基礎と応用



池田 和司 教授

奈良先端科学技術大学院大学

日時：2013/4/25 (Thu)

16:30-18:00 (14-211)

Abstract:

統計モデルの幾何学として産声をあげた情報幾何学は、リーマン幾何学への双対接続の導入であり、現在では多くの分野に応用されている。

本セミナーでは、情報幾何学の枠組みを線形代数の拡張として平易に概説し、双対接続の元で平坦となる双対平坦空間の性質について説明する。また、いくつかの応用例を紹介し、その有用性を示す。

About the Speaker:

1994	東京大学大学院工学研究科 計数工学専攻 博士課程 修了
	金沢大学 工学部 電気・情報工学科 助手
1997	金沢大学 工学部 電気・情報工学科 講師
1998	京都大学 大学院情報学研究科 システム科学専攻 講師
2003	京都大学 大学院情報学研究科 システム科学専攻 助教授
2007	京都大学 大学院情報学研究科 システム科学専攻 准教授
2008-現在	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 情報生命科学専攻 教授

